



～みんなで育てよう

# 絆

地域の子供どもたち～

No. 94

2020. 3. 1発行

町田市青少年健全育成

玉川学園地区委員会

会長 松香 光夫

mamat.tamagawa@gmail.com

## 第33回秋の子どもまつり

## たくさんのご来場

## 有難うございました。

2019年10月27日(日)  
町田第五小学校校庭にて  
開催しました。



たまりんピック



私たちの第33回「秋の子どもまつり」を賑やかに開催しました。翌年のオリンピック・パラリンピックの掛け声をお先にいただいて「たまりんピック」をお先に楽しみました。本年度は、それだけでなく青少年健全育成地区委員会が創設50周年を迎えた特別なタイミングでもありました。いくつかの写真・記事を通じてこれらを思い出し、また今後につなげていただければ幸いです。 <秋の子どもまつり実行委員長 松香光夫>

サマンサ倶楽部



イラスト 金子伸子



町五小プラスバンド +くら・ぼると>吹奏楽団



ガールスカウト スローインフリスビー



MGキックターゲット



青パト

大人気！おまわりさんと一緒！  
今年は青パトも出動でした



国士舘大学子どもボランティア部  
様々なお手伝いいつも有難う！



ボーイスカウト 蜘蛛の巣くぐり



シャインズ バッティング マシン



町田 RG たまがわクラス



昔あそびも健在！  
町内会自治会のおじ様おば様にお任せあれ



五輪まわし がんばれ！



ド-ド-シュート！



南大谷中ダンス部 RAINBOW CLUE

～心のふるさと「秋の子どもまつり」～

「段ボールキャタピラー」を担当

秋の子どもまつり実行委員 田中佳代



玉川大学と国士舘大学の学生さんに綺麗で可愛い絵をかいていただいた段ボールキャタピラー整列。準備OK！ さあ始まるよ！

子供たち来てくれるかなー、そんな心配はよそに、来るわ来るわ、順番待ちあり、何でも来てのりピーターあり。ちょっと嬉しい悲鳴。小さい子は小キャタピラーでハイハイ乗り、大キャタピラーではでんぐり返しで進む子、うわ！早っ！「さすがー」の声がかかる。大きい子は足を出しながらの横のり、ゴロゴロ……。こんなに単純な乗り物なのにとっても楽しそう。じゃりじゃり砂だらけ。男の子も女の子もいい笑顔だったね、楽しかったね！ 少々疲れと爽やかな気分を味わうことができました。

落合会長(5代目青少年健全育成玉川学園地区委員会会長)のもと、S61年に『第1回秋の子どもまつり』が開催。子供たちの心の中に「ふるさと」という言葉を残したいと「折り紙みこし」を作り、子供たちと一緒に世代を超え「ワッショイ、ワッショイ」したのが昨日のここのようです。子供たちの目の輝きと笑顔を見たく、年齢を重ねた今、33回目秋の子どもまつりに参加出来ていることに感謝。いつまでもふるさとの秋の子どもまつりが続きますように…。

## =秋の子どもまつり=

実行委員会企画協力団体

### <麦茶コーナー>



諸先輩方について参加させていただいたのが3年前のこと!!麦茶担当という役割を皆様と楽しく行えたことが印象強く残っています。

初参加の時はどのようなタイミングで麦茶を補給するのか?先輩の指示の下に動いていたように思います。が、子供たちの「お茶下さい!!」の元気な声にこちらパワーをいただき、あっという間に終わってしまったように覚えています。

2年目はやはり先輩の方と二人での参加に。少し手順もわかってきたため、子供たちへの可愛いイベントも楽しめる余裕も!!地域の皆様との出会いもあり、またまた楽しい一日を過ごさせてもらいました。

今年は、先輩方の参加が難しく、私と初参加の職員理事の二人に。少し不安な私たちに優しく声をかけてくださった実行委員のママさんたち!!安心感をいただき、やる気満々の二人に。来場者の水分補給という重要な役割に二人で頑張って「やかん」での麦茶運び。交代でイベントも楽しみ、やはりあっという間の一日でした。

この3年間での一番の感想はとにかく楽しいことです。関係者の皆様様の笑顔と連携のすばらしさは感動ものです。我々の反省点としては、「楽しみすぎ!!」たことかな(笑)。来年もまた参加したいです。楽しい一日を有難うございました。

桜実会 甲斐陽子



会場を彩った南大谷中学校のフックアート「五輪」



### <体験しよう パラリンピックポッチャ!>

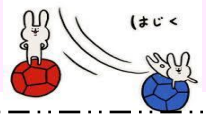
高齢者支援センターは、地域の高齢者の支援及び総合相談の窓口として、桜実会が町田市から事業を受託して運営しています。

ポッチャはパラリンピックの種目であり、障がい者・高齢者・子供でも楽しめるスポーツです。地域で高齢者が集まり、楽しく取り組めるスポーツとして地域にポッチャチームが立ち上がっています。

高齢者の支援は行政だけでは充分に対応することができません。地域が世代を超えてお互いを見守り支援する関係を作っていくことが求められています。

ポッチャを通して、地域の人たちが交流できるようになると良いな、高齢者と小学生の試合ができれば楽しいだろうと考え、お手伝いをさせていただくこととしました。当日は子供たちが何度も列に並んで世代を超えてポッチャを楽しむ姿を見て、地区全体でチームを作り対戦を楽しめるようになる日を夢見ながら過ごした1日でした。

町田第3高齢者支援センター  
菅居正明



### 出店者

#### <エル・エンジェル国際ボランティア協会を支える会>

NPO エル・エンジェル国際ボランティア協会は開発途上国に対して、経済基盤の確立及び子ども達の教育等に関する事業を行い、国際協力の活動を推進し、更には国内外の福祉の増進及び、災害救助活動に寄与することを目的として、インドにスマトラ沖地震の孤児院を建設・運営、ネパールに小学校を建設・運営等を行っています。支える会町田地区は、その活動を財政的に支えるためにバザーや寄付活動をしています。

毎年参加させていただいている秋の子どもまつりでは、スイーツデコの手作り体験やくじ・ガチャポン・手作り品の販売をし、その売り上げ金を寄付しています。

子どもたちの笑顔に囲まれながら、世界の子どもたちが幸せに過ごせることを祈っています。

衛藤芳江



### <レ・マーニ>

この度は、数年ぶりに秋の子どもまつりに参加させていただきました。久しぶりでしたがいつもと同じ懐かしい雰囲気、スタッフの中には第1回から参加してきた者もあり、一同楽しく参加させていただきました。

今年はオリンピック・パラリンピックがテーマとのことで、レ・マーニではゴルフゲームをやりました。初めての種目で、子どもたちがちゃんと楽しんでくれるか不安もありましたが、小さい子や女の子も含めてたくさんのお子さんが来てくれて、スタッフも楽しい時間を過ごすことができました。

来年も是非参加して、子どもたちと楽しい時間を過ごすことができればと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

NPO 法人レ・マーニ 石井邦典



### <車イスでGO!>



車いすもメガネのように身近に感じられたらという思いで、20年位前に我が子が小学校の時にやっていたことを思い出して、孫の小学校でもという軽い気持ちで参加しました。

大人用と子供用の車椅子を各2台借りてきて、グラウンドの中程にスラローム・車庫入れ・スロープを作り、やらせていただきました。場所も結構広く使わせていただいたので、車椅子に乗り楽しんでもらいました。当日天気が良かったこともあり、160人位の子供たちに楽しんでもらいました。タイムを計ったこともあり、必死で運転していたり、車庫入れで扱いの大変さを感じたり、ちょっとした坂でも大変なんだと感じたりしてました。

沢山のの人に楽しんでもらえて良かったです。

山岸孝子



# 町田市青少年健全育成地区委員会 50周年

町田市青少年健全育成地区委員会

## 設立50周年記念式典

主催：町田市青少年健全育成地区委員会連絡協議会

11月30日、地区委員会50周年記念式典が町田市民ホールにて開催されました。第1部では在任20年以上の地区委員の方々が表彰され、なんと50年以上在任の方も2名いらっしゃり、表彰されました。玉川学園地区委員会では、ころころ児童館の内田延子館長が通算で20年以上在任ということで表彰対象となりました。この後、スライド写真による24地区の活動紹介もあり、それぞれ特色を持った活動している様子がよくわかりました。

第2部は、「記念イベント 未来輝く子どもたちのステージ」でした。第1部とかなり趣向が変わり、町田市内の小中学校や各子どもセンターにゆかりのあるグループ、個人の輝かしい共演となりました。若い方々のパワフルな合唱、演奏、パフォーマンスは町田市の前途ある明るい未来を存分に感じさせてくれるものでした。



玉川学園地区委員会に今まで多大なる貢献をしてくださった方々は、他にも大勢いらっしゃいます。現役委員であることや着任年数条件のために今回表彰対象として推薦させていただくことができませんでしたが、この50年間に玉川学園地区委員会に関わられた全ての方々に、深く感謝の意を表します。

### 青少年健全育成玉川学園地区委員会の主な歩み

#### <発足～40周年までの主な歩み～> 昭和45年(1970年)～平成21(2009年)

- S45 町田市青少年対策玉川学園地区委員会誕生
- S52 玉川学園地区委員会広報誌「地区対だより」第1号発行
- S61 第1回「秋の子どもまつり」
- H5 玉川学園地区委員会広報誌名称を「絆」(公募により決定)に変更
- H10 町田市青少年健全育成玉川学園地区委員会に名称変更  
3丁目都営住宅跡地に子どもの施設を作ろうという活動を開始  
(H15 3丁目都営住宅跡地に「ころころ児童館」オープン)  
(H16 3丁目都営住宅跡地に「3丁目子どもひろば」オープン)
- H19 町田ブロック子どもセンター設立準備会に参加開始 建設候補地について検討
- H21 (内部組織)子どもネットワーク部と研修部を統合して事業部とする

#### <50年間の歴代会長>

S45年度～	初代	中田正喜
S47年度～	2代	福田知郎
S51年度～	3代	小原洋夫
		中村四夫
S53年度～	4代	吉住妙子
S59年度～	5代	落合けい子
S63年度～	6代	宿谷進
H6年度～	7代	内田延子
H12年度～	8代	春山幸子
H13年度～	9代	堀内悠子
H24年度～	10代	船生みどり
H30年度～	11代	松香光夫

#### <41～50年目までの主な歩み～> 平成22年(2010年)～令和元年(2019年)

この10年間に実施した事業(抜粋)

- H22 (玉川学園地区社会福祉協議会が設立。)玉川学園地区委員会も加入
- H23 町田地区子どもセンター建設準備委員会設立(地区委員会町田ブロックの会長・副会長・青少年委員で構成)。子どもセンターの具体的な検討に入る
- H25 フラッグアート実行委員会に参画 地区委員会支援事業対象とする
- H26 玉川学園・南大谷地区協議会設立準備会に参画
- H26 未就園児母子のための「チョコペタの会」の事業開始
- H27 未就園児母子のための「びよたまの会」に名称を改め、継続的な事業開始
- H27 (玉川学園・南大谷地区協議会設立) 地区委員会も加入
- H28 (町田地区子どもセンター『まあち』オープン)まあち運営委員会に参画
- H28 玉川大学芸術学部、教育博物館等の子どものための事業に支援協力を開始

秋の子どもまつり

びよたまの会

福祉まつり 焼き鳥出店

商店会夏祭り ヨーヨーつり出店

H28 考える力を育てる「コーチング」

ひなた村に集合! たき火で焼き芋・森のハンモック・丘すべり・豚汁・シチューetc

H25 わくわくサイエンスショー

H27 子どもの姿勢 気になりませんか?

H29 おうちも心もすっきりお片付け講座

### <50周年記念パンダナ>

50周年を記念して、玉川学園地区委員会のスタッフパンダナを金子伸子さんのイラストでリニューアル制作しました。



### 地区委員会団体代表者懇談会 11月2日

14団体が参加し、各団体代表者の自己紹介の後、地区委員会の成り立ちや、活動の歩みについて説明をさせていただき、各団体が地区委員会組織の構成員であることと、委員会活動の重要性についてご理解をいただきました。その後「地域の子とも同士、子どもと大人がつながるには」をテーマにグループトークをしました。それぞれ、①子ども110番をもっと活用する ②地道に子どもとあいさつを続ける ③自分たちが子ども時代にした楽しいと感じたことを企画してやってあげる などの意見が出ました。



### 研修事業 11月17日

おばあちゃんの知恵のようなものが今の親世代も知らずにいます。そのうち消えちゃうのでは、とったりもするので、このようなテーマで企画してくださったのはとてもよかったです。(保護者)

### — 干し柿作り —



すごくぬるぬるして切れにくかったけどたくさん作れてよかったです。

かきのかわをむくのが大変だった。(5年女子)

しっかり覚えて庭の柿でも作れるといいです。

殺菌するのが楽しかった。(6年男子)

おとなになったらしぶがきの木をそだてたいです。(1年男子)

最近の子どもは柿を喜ばない、などと言われますが、ここの所の災害や将来的な食糧不足etc、太陽の力で捨ててしまう食材を保存食に変えるという事の素晴らしさを親が理解し伝えていきたいと思ひます。(保護者)



＝地区委員会協力事業＝



教室in玉川大学  
2019  
<8月18日>



地区委員会その他活動報告

- 7/6 みなみおおやまつり  
(キラキラしゃぼん玉)
- 7/26・27 玉川学園北口商店会夏祭り  
(ヨーヨー釣り出店)
- 10/20 桜実会福祉祭り(焼き鳥出店)
- 2/16 ひなた村に集合!  
—やきいも!豚汁!森のハンモック&丘すべり—



玉南まちカフェ(玉川学園・南大谷地区協議会事業)

1月26日、桜実会ダイフロアと3丁目子どもひろばで「第3回玉南まちカフェ」が開催されました。雨は止んだものの、ひろばでは風のしっぽ(袋状の細長い布が付いた棒を持って走る)のみに。ダイフロアでは、構成団体(玉川学園地区委員会もその一つ)の活動展示、相談コーナー、おしるこ販売、お点前体験、風車作り、ニットカフェ紹介等が行われました。お子さんたちが緊張した面持ちでお点前をしていたのが印象的でした。

今回は外遊びイベントが減って、本当に残念でした。一方、玉ちゃんサービス普及や空き家対策等に取り組み、住み良いまちにしようと活動している皆さんの熱意は十分に伝わり、その一翼を担っている地区委員会の一員であることを嬉しく思った次第です。 地区委員 伊藤綾子



学校行事

美しい青空に子どもたちのフラッグが映えました!



9/28 南大谷小学校運動会



10/29  
南大谷中学校  
合笑祭

笑う門には  
歌来たる♪



11/8・9  
南大谷小学校 作品展  
—ゆめ、ひろがれ  
南大谷美術館—



ユネスコスクールへの取組

町田第五小学校校長 五十嵐俊子

町田第五小学校は、南大谷中学校・南大谷小学校と連携して、ユネスコスクールを目指しています。2年間連続してSDGsをテーマにした3校合同の教員研修会を行い、今年度は、本校を会場に6年生のSDGsに関する授業研究も行いました。

3校それぞれSDGsの理念のもとに実践していますが、本校では、玉川学園地域をフィールドに、「まちごエンジョイ ラーニング(総合的な学習の時間と生活科を核にした教科横断的な取組)」という探究活動に取り組んでいます。この取組には、近隣の施設や玉川学園町内会等、たくさんの方々にお力をいただいています。

今後も3校で連携しながら、持続可能な玉川学園地域の担い手となる子供達を育てていきたいと考えています。



地区委員及びサポート隊員を広く募っています!!

「地域協力者」として委員会活動やサポート隊として参加して下さる方を募集しています。一つの行事に特化するのでも構いません。年齢性別も問いません。子どもたちのために何か活動してみたいという方、是非お問い合わせください。

<連絡先> 松香光夫 [mamat.tamagawa@gmail.com](mailto:mamat.tamagawa@gmail.com)  
田中香代子 [kayo-t@mvi.biglobe.ne.jp](mailto:kayo-t@mvi.biglobe.ne.jp)



♪お知らせ♪ この広報誌「絆」やイベントのチラシは玉川学園地区社会福祉協議会(QR左)及び玉川学園町内会(QR右)のホームページでもご覧になれます。



\*\*編集後記\*\*

『絆 94号』はいかがだったでしょうか? 今回も、皆様にお伝えしたい盛りだくさんの内容をどうにか4枚の紙面に収めることができました。部員一同、皆様からのご支援とご協力に心よりお礼を申し上げます。